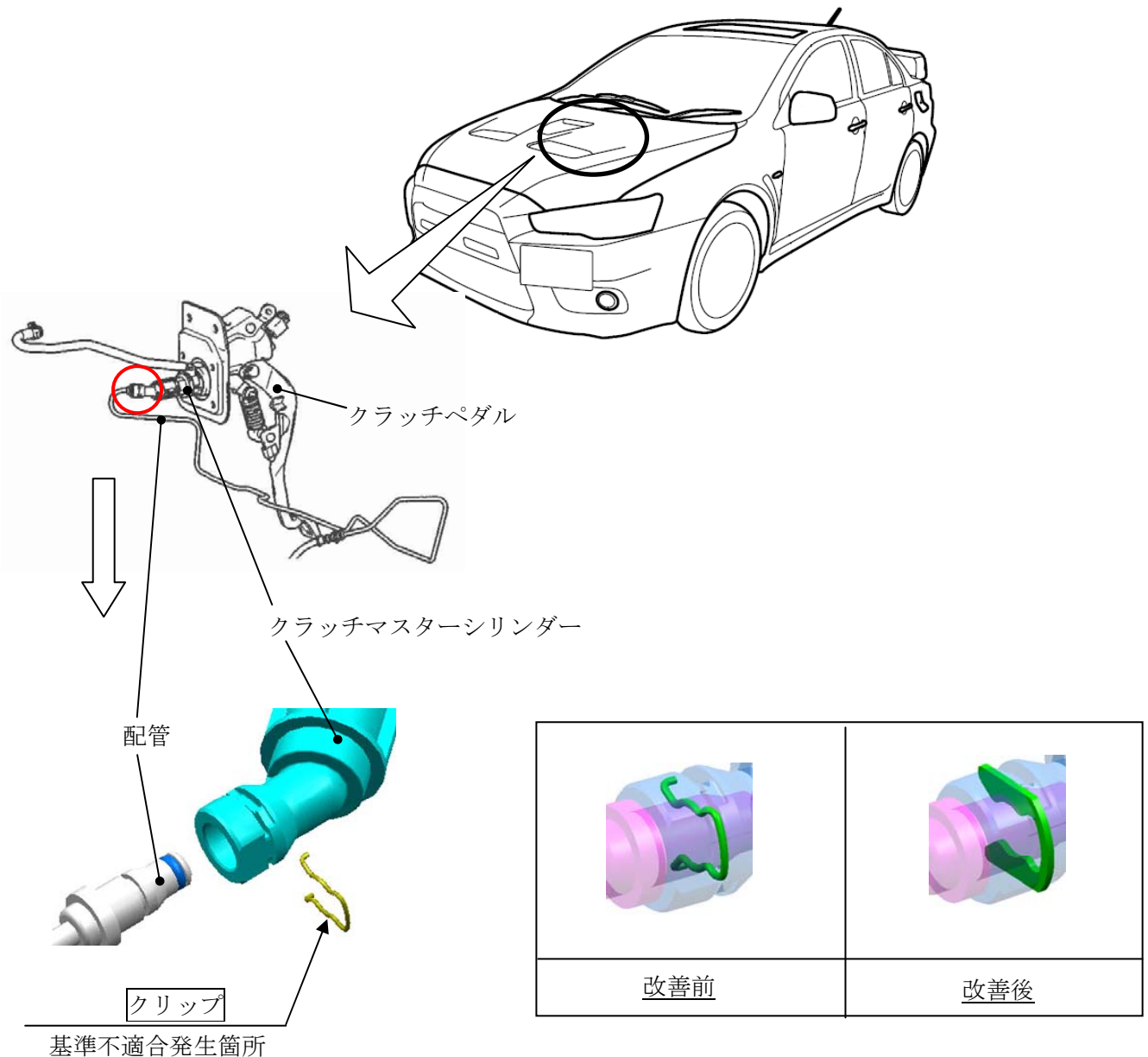


改善箇所説明図



クラッチマスターシリンダーに配管を固定するクリップの強度が不足しているため、クラッチ操作による油圧の入力により当該クリップが損傷するものがある。そのため、配管が抜け、フルード漏れとなり、クラッチ操作ができなくなるおそれがある。

改善の内容

全車両、クリップを対策品と交換する。

注：図中の 内は交換を行なう部品を示す。

識別：クラッチ配管（クラッチマスターシリンダー近傍）に白色または黄色のペイントを塗布する。